編集発行 五城目町役場 総務課 電話(五城目局)501番
第49号 昭和36年6月19日発行
印刷所 秋田県五城目町古川町 湖東印刷所 電話170番

36年度当初予算など提出

臨時議会招集される

☆…昭和三十六年度当初予算議会は六月十六日午前十時十分、五城目町役場第一会議室に招集されました。…☆

▼**会期と日程**

6月16日＝開会、議会運営委員長の会期及び日程案の報告、町長の一般説明
6月17〜19日＝休会(議案研究)
6月20日＝議案27、29、30、35〜39号の一括上程、質問
6月21日〜23日＝残余の議案上程質問、委員会附託
6月24日＝各委員会開催
6月25日(日)＝休会
6月26〜28日＝各委員会開催
6月29日＝本会議、委員長報告議案の採決
6月30日＝前日に引つづき本会議、閉会

▼**提出された議案**

◎町税賦課徴収条例の一部を改正する条例(老年者控除額の引上げ、その他条文の整理)
◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(国民年金協力員、河川改修対策審議会の委員、家畜管理所運営委員、専門審議会の委員等の報酬額規定)
◎特別職の職員の給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例(町三役の給与額改正)
◎一般会計才入才出予算(予算額一二九、一六九、一五〇円)
◎町有林野特別会計才入才出予算(予算額一一、三二〇、四〇〇円)
◎水道事業特別会計才入才出予算(予算額二七、八三六、〇四〇円)
◎国民健康保険特別会計才入才出予算(予算額二一、六二三、七一〇円)
◎清掃条例の一部を改正する条例(様式改正)
◎課室設置条例の一部を改正する条例(企画室、町民室の新設等)
◎専門審議会設置条例の制定(町長の諮問機関として行政部門別に審議会を設置)
◎立木の処分について
◎固定資産評価審査委員会の委員選任につき同意を求めることについて(長谷川富次郎)
◎指名競争入札に付することの同意を求めることについて(山ノ手線道路改良工事、延長七六九、四米、巾員九米)
◎用地の取得について(山ノ手線道路改良用地、五〇〇、一六坪)
◎寄附採納(原動機付自転車五〇CC壹台、馬場目中学校備品、寄附者本田技研株式会社)
◎寄附採納(テレビ壹台、五城目幼稚園備品、寄附者長谷川定作)
◎寄附採納(原動機付自転車五〇CC壹台、富津内中学校備品、仙台市本田技研株式会社)
◎請願三件
◎陳情三件

うまれ変る町内の街路

工事の促進に協力を望む

多年の宿願であつた本町内の街路の舗装工事が、いよいよ実施される運びとなりました。

十月の国体開催までには駅前をはじめ町内の繁華街は担々とした舗装道路に変つて、町も一段と美しくなります。

補装される個所は、町道では駅前をはじめ下町通り全線県道では五城目小学校前の既設舗装のつづきから中央公民館通りと下の小路、さらに川原町曲り角から坂谷商店の角までの上町通り全線で、町県道合せて一九一米に達します。

工事はすでに一部着工されていますが、とくに町民各位に望むことは町負担額のうちの一部協力額のことで、これについては町では近く関係町内ごとに更に説明会を開いて、ご協力を要請するよう準備しています。

また工事中は危険な個所が多いので充分注意し、工事の進捗に協力されるよう望んでいます

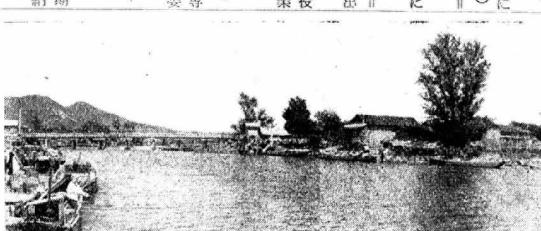
(写真 作業始めた舗装用機械)

☆★☆★☆ **会議・諸会合の予定** ☆★☆★☆

◎臨時町議会＝開会中(6月16日〜30日)於第一会議室 案件は36年度当初予算ほか(町議会議員三〇名)
◎国民年金協力員会初切会議＝7月上旬、於役場会議室 案件は規約審議ほか、同時に説明会も行う(委員二五名)
◎ラジオ農業学校推進協議会＝7月上旬、於役場会議室 案件はラジオ農業学校開設についての協議(関係団体)
◎北海道、東京物産展反省会＝7月上旬、於役場会議室(出品関係業者約三〇名)
◎採種組合総会＝7月上旬於役場会議室、案件は予算と事業計画(会員ほか一五名)
◎国体専門委員会＝六月下旬於中央公民館、総務、演技、施設、宿泊、交通輸送の各専門委員会を開き、同日常任委員会も開く(委員六二名)

▼**楽しく働き笑顔で納税**
▼**納税は日掛月掛心がけ**

今月は町民税第一期分の納期です。六月三十日までに必ず納付して下さい。



馬場目川の改修

世紀の大事業といわれる八郎潟干拓も、第三年度を迎え、いよいよ流入河川の改修が開始される段階になつた。

五城目町を東西に貫流する馬場目川は八郎潟流入河川の最大のもので、当町にとつてこの河川改修はゆるがせにできない重要問題の一つである。

馬場目川護岸改修計画の概要は農林省案では河口から竜馬橋まで、県案は西野八幡神社下までとなつており、地元希望としては田町の下、馬場目、富津内両川の合流点までを打出している。

工事の主眼は現在六〇〜七〇米の川巾を、市街地以外は一〇〇米とし屈曲を少くして高さ約一〇米の堤防を築造するもので このため大川地区の川端の民家十九戸二十二世帯が移転しなければならない。

また川筋の移動で耕地の大きな変動も予想され、関係住民にとつては死活問題であるので、補償問題については団体交渉権を認めることを望むなど真剣な表情である。

ともあれ干拓によつて八郎潟が現に変貌しつつあるが、これと同様に馬場目川もやがては自然の美を失ない、あらたな人工の美を加えて生れ変る日も間近い。

そこに自然の美を失なういくばくかの感傷もあるが、新しい時代の要請にこたえて五城目町は今後この問題の有利な展開を推進しなければならない。

(写真大川地区の川端附近)

大川地区の国道舗装を陳情

去る五月二十五日建設省道路局の一級国道課長が県土木部長らとともに、大川地区の国道七号線を視察に来町した。

町からは町長はじめ、正副議長、土木委員、地元議員など多数出迎えて現地を説明のうえ舗装の促進方を陳情した。

国道課長ら一行は現地の状況をつぶさに検分したうえ、五城目町の意図にできるだけ副うよう努力する旨を約し、県道五城目八郎潟線をも同時に視察した

(写真 国道課長らの現地視察)

苗代品評会審査終る

北島隆一外15名入賞

寒冷地方の稲作安定と増収はまず早播、早植えが最も必要であり、丈夫で健康な苗をそだてを奨励するため今年も全町を一ブロックにして苗代品評会を行いました。

審査に当つた畠山氏は「畑苗代の苗立は良好、苗付中期以後の温度の調節悪く草丈が伸び過ぎの傾向。折衷の油紙被覆仕立には優秀なものが多いが、ポリエチレン使用のものは高温障害の出ているものもある。一般に原播による伸び過ぎの傾向にあり、病安虫の完全防除に努力されたい」と語つた。

審査成績は次のとおりである

▼**畑苗代の部**

一等 北島隆一 大川
二等 伊藤準一 八田
〃 猿田喜六郎 岩野
三等 内藤実 寺庭
〃 伊藤次郎 脇乙
〃 石井俊光 西野
〃 田仲寿美治 平の下
〃 安田鶴治 黒土

▼**折衷苗代の部**

一等 阿部兼太郎 富田
二等 草皆民治郎 帝釈寺
〃 佐藤高治 谷地中
三等 石井勝雄 黒土
〃 本間末吉 舘越
〃 本間金之助 〃
〃 佐々木角十郎 岡本
〃 石井キヨメ 小倉

◇◇◇……………◇

季節のあゆみ

◇……………◇◇◇

▼みどりの〃美しき五月〃はもう終り、ゆく春を惜しみながらも、明るい初夏を呼ぶ季節の情感が、ほのぼのとわき上がつてくる。季節のうごきは、いつに変らない自然の美 さを現わすのであり、又人の世の移ろいでもある。

人生にとつていちばん大切なことはつねに新鮮であり、そしてなごやかであることで、それは自然の中からできる限りくみとり、濁りがちな世の中にあつても大切にこれを蓄積したいものである。

▼ニキオの純白で明るかつて貧しいわが家の庭も、濃艶なバラの季節になつた。

バラ作りもまだ日が浅いので、専門的なことはわからないが、ただ、早春に肥料をたつぷり入れ、発芽後の病害虫を防除することにより、美しい花が咲いてくれるので素人なりのたのしみは充分味わえるわけである。

どの花もそうであるが特にバラは咲き切つた花の姿もむろんいいものだが、これから咲こうとする直前の姿勢がまたすばらしい。

つまり「まさに発せんとす」である。

▼田植はおわつた。早期栽培の普及で十人も二十人も揃つた賑やかな田植の風景はみられなくなり、ほとんど家族作業に移行している。早いのはもう新葉が伸び、広々とした田圃は濃緑のモウセンを敷いたようになつた。青葉の森を移り鳴くカッコウの声に、装もきりりとしたオバコ達が除草機を押すはずんだ姿は、初夏の農村風物詩でもある。

今年も豊作であつてほしいと思う。天災や病害虫の災厄もこれからが本番であり、それに対処する苦労も並たいていではないと思うが、天災などの災危をのりこえた永久豊作も既に完成近いものではないだろうか。

〜蚊とハエを退治しよう〜

薬を無償で全戸へ配る

蚊とハエはおそろしい伝染病を媒介し、住みよい生活環境をブチこわしていることはご承知のとおりである。町では「きれいな環境で、健やかな生活」をするため蚊とハエの退治に力を入れてきたが、今年は特に国体もあり、これを契機として快適な環境を作るため五城目保健所の指導と協力のもとに強くこれを進めることにした。

薬剤は新薬で価格も安く、そして効果のある「アヂトツプ」と「シントウプイピー」であるが、アヂトツプ(乳剤)は三百倍液を一戸平均一回三升位を月三回以上撒布することで、これはハエの発生場所であるゴミ、牛馬舎、豚舎、堆肥、便池、鶏舎、下水など重点的にやつていただくもので、今月から十月末までの五カ月のうち約三カ月半分を全世帯に無償で配布した。シントープイピー(油剤)は原液のまま噴霧品で蚊やハエに直接撒布するものであるが、これもアヂトツプと同量程度全世帯に無償で配布した。

撒布については町内部落が一斉に実施すると効果的であり、使用方法も保健所の指導を受けることがいちばんいいと思う。

なおゴミ箱、下水などは役場でも薬剤を撒布するが、町内部落会でもできるだけ協力していただきたい。

公民館だより

第二回全町体育祭

7月23日開催にきまる

昨年の9月に開催して予期以上の成果をあげた全町体育祭は今年も7月23日（日）に行うことにこのほどの体育指導委員会で決った。今年はとくに団体への意欲をもりあげるために、内容面にもいろいろ趣向をこらし、より盛会になるよう検討をすすめている。種目は昨年と同じものであるが、いく分改めるものもあるほか、マスゲームには新五城目音頭をとり行う予定であるが新五城目音頭の普及のため、各地区ごとに巡回指導も行う。

申込み方法、開催要項などくわしい点については近日中に町内会、部落会に通知する。

なお会場は昨年と同じく第一中学校グランドで行うが、団体にもおとらないはなやかな開会式は今から町民の話題となっている。

第一回は今月二十五日（日）金町を対象に行なわれる。

町内会、婦人会、子ども会が協力してドブざらいや雑草の取り払い、みにくい電柱のポスターのはぎ取りをするなどする。

なお第二回目からは毎月第二日曜日の午前中に実施する。

全町「清掃デー」を制定

毎月第二日曜日に実施

新生活運動が盾々とその成果をあげつつありますが、さらに一層高めていくために、このほど毎月一回〝全町清掃デー〟を制定、全町こぞって蚊やハエのいない明るい町づくりをはじめることは国体の開催にもあり、これを機会に全町民、町ぐるみこぞって行うことにしたもの。

「婦人団体」を訪ねて(3)

富津内西婦人会富田支部の紹介

先号速答要会採訪記を載せてきましたが、今回から「婦人団体を訪ねて」と題して広く婦人団の活動状況をお伝いすることにします。

現下の社教団体ほどその活動の成果を期待されているものはないと思いますが、その大方は活動資金難にあえいでいると言われています。

ところが婦人団体はその割に運営費に恵まれていると思われます。

それはまず収入の方法が上手であること、支出が極めて慎重であることだようです。

ここに婦人会活動の自己財源として、畑二反歩を耕作している富津内西婦人会の富田支部を紹介します。

富田支部は支部長阿部セツさんを中心に、会員五八名と言う世帯ですが、直接会員から徴収する会費はありません。

畑には馬鈴薯、大豆等を栽培してその収益約八千五百円を中心に、どこの婦人団体も同じように、購買部のいろいろな物資の販売による利益等によって年間約四万円の予算を編成しています。

然し支出に於いては削減の一重さによって、毎年一万円以上の繰越金をもって次年度のつなぎ資金にしているようです。

一方どんな事業をしているかを拾ってみますと、他の婦人会と同様に社会奉仕団体と言う立場から、交通安全運動、環境衛生、青少年育成、社会福祉、選挙啓蒙、体育スポーツ、国体協力、婦人教養、家庭教育、生活改善、産業経済、保健衛生、文化教養、国際親善、等々の活動をしています。

特に秋田ならではの団たんぼ、八郎湖名産の白魚、太町名産のなべこや一尊白米が食膳に供される事になる。

町の為県の為と喜んでお引受けされたお母さん方は忙しい中をさいて出席し真剣にメモされていた。

三度三度の食事が色々の材料を取りそろえ何百グラムの○○カロリーと言うのは多少勝手の違った感じも見られたが、馬鈴薯作付の作業をみて、今後の大きな飛躍をうかがわれ、全く意を強ようしました。

【写真は富田婦人会支部の畑作業】

青空に幼児は躍る！

新緑の快晴に恵まれた五幼の運動会！幼児にとっては父母にこの雪とばかりに種目別元気な姿をご披露した。母親を向うに廻して一命の綱引に快哉を挙げ、遂には父も走り母も走ると云う親子にとっては楽しくもはゃえましい一日であった。一写真は綱引きの情景一

国体よ!!いつでも来い

料理実習会盛会

五城目町国体準備事務局では五城目町保健所と共催で国体標準献立の講習会（五月二十九日）同実習会（五城目三十一日）を五城目保健所で開催した。

講師に今村保健所長、藤田栄養士を迎え、民泊を引受けたお母さん方約四十名が終始真剣に受講された。これは秋の国体開催時に全国から来町されるレスリング選手役員の栄養と健康を充分考慮して調理されたもので、そこはお互同志で教え合って夕刻には一同充分会得されて冗談なども飛び出す和気あいあいの料理教室であった。

この標準献立実習会は八月九月にもう二回開催されるが、今回家事の都合で出席出来なかった方は、今後は心ず出席される様当分では要望している。

国体の前哨戦

県体レスリング開催

来る七月二日より三日間県体レスリング大会が五城目第一中学校体育館に於て開催されるが、これは秋の国体の前哨戦として開催されるものであり今からその盛会が予想される。

全国でも本県のレスリングは上位のものであり一般学生とも遜色は練習を重ねており、金メダル、銀メダル獲得を今から期待して居る。

尚この大会は無料で観覧させるものであり一般の参観を歓迎します。

次に日程をお知らせします。

七月一日会場準備

競技開始午前十時半

マット二面使用

一、二回戦

七月三日競技開始午前九時半

三、四回戦

七月四日競技開始午前九時半

閉会式午後三時半

尚この大会には五城目高校五城目第一中学校のブラスバンド並に合唱団等が出場することになっている。

国体の巡回映画会

町内十カ所で開く

国体に対する活動が急ピッチにすすめられているおりから、中央公民館ではさらに地区の関係をふかめるために国体の映画会を次の日程で開催する。

これには「富山国体」（三十二年開催地）の記録と、県民運動を推進するためのものとして「エチケット」「明るい村づくり」「わが身、人の身」の三本が上映される。

◎7月3日（月）午後1時　中央公民館（武道場）

◎7月3日（月）午後7時30分　馬川小学校

◎7月4日（火）午後7時30分　馬場目中学校

◎7月5日（水）午後7時30分　杉沢小学校

◎7月6日（木）午後7時30分　富津内西小学校

◎7月7日（金）〃　富津内東小学校

◎7月8日（土）〃　内川中学校

◎7月9日（日）〃　内川公民館

◎7月10日（月）〃　森山公民館

◎7月11日（火）〃　五城目町高性前

◎7月12日（水）〃　五城目小学校

国体の前哨戦

日体協東総務主事来町

国体の下調べ

日本体育協会総務主事東俊郎

【写真は実演会の風景】

16ミリ映写技術者養成講習会開催される

29、30日　於井川西小

毎年実施している「技術者養成講習会」は今年も来る四月に南秋の講習会を天王町に於いて開催されたが、農繁期に入っておりましたので参加者が少なかったこともあって、本町単独に実施する計画を進めておりましたところが井川、飯田川、昭和各町村で話合いをして、南秋視聴覚研究協議会の主催で来る二十九、三十の両日井川西小学校に於いて開催することにしましたので、多数参加されるよう望んでおります。

後日中央公民館にて各青年会学校を通じて募集する予定でおります。

なお事前研修会を二十七日（火）午後一時から中央公民館においておこないますので、講習会参加者は必ず出席されるようにしてください。

お知らせ板

◆三陸大火の義捐金品を募集しています。6月30日まで

台風四号の余波をうけた五月二十九日、三十日青森県八戸市、岩手県宮古市、田老町など暴風にともなう大火が発生し、死傷者六〇人余、三九七棟、罹災世帯一、四六三罹災者人員七、八四六人、損害は約一〇〇億円以上となり、その惨状は目を覆わしめるもので、誠に同情にたえないものがあります。

このたび日赤秋田県支部が主唱して、これら罹災者に対し義援金品を募集し再起の一助にすることになったのでよろしくご協力をお願いします。

なお募集は次のとおりです。

▽期間　六月一日より六月三十日まで但し町内は県内まで義援品の場合は六月二十七日まで。

▽送り先

①義援金役場住民課（役場でとりまとめ日赤県支部へ送付します）

②義援品役場住民課（役場でとりまとめ青森市日赤支部へ直送します。六月二十九日までは鉄道輸送は無料です）

個人で出す場合は青森県知事、岩手県知事、八戸市長、宮古市長、田老町長あては無料でその他は有料です。

なお、衣類などは洗濯して直ちに使えるもの、その他の品物も使用にたえるものとなっています。

義援金品のことでご不明の点は役場住民課長へおたずねください。

◆六月は町民税第一期の納期です

町民の今月は二十日頃までに納税者に配布されますから、期限までに納付して下さい。

なお課税について不審な点のある方は役場税務課へお申し出で下さい。

また固定資産税一期、国保税一期、軽自動車税の未納者には近日中に督促状が出されます。

督促状の発付後は延滞金のほかに督促手数料、差押加算金など余分に負担しなければなりませんからその前に納付して下さい。

◆馬の伝貧検査が行われます

つぎの日程ですから馬の飼育者は必ず検査をうけて下さい。

7月15日＝馬場目

〃　17日＝内川、富津内

〃　19、20日＝大川、五城目

◆夏季家畜セリが七月九日杉ケ沼市場で催されます

当日は仔牛約百頭の出場予定で遠隔アーム°で県外からも業者が来町して高値が予想されます